



上期・創刊号(平成22年8月発行)

平成22年度 安全基本方針  
安全スローガン

『一人一人の安全意識の向上を計り 災害を目指そう!』《KY活動の推進》  
『一人一人の声かけで 安全・安心 事故はなし』

Vol.1

# HB だより

社内報創刊にあたっての社長挨拶



代表取締役 社長  
**新谷 清二**

## 『信頼される企業を目指して』

代表取締役社長 新谷 清二

日頃社員の皆様には仕事を通して大変ご苦労をかけ、心より感謝申し上げます。さて当社が、ISO9001を平成十六年四月三十日に取得して早五年が過ぎました。その当時は、まだ社内的にISOの取得は早いよう気がいたしましたが、左記のような理由により取得いたしました。

- ① 社内組織の見直しと充実
- ② 社員の能力向上の為の社員教育のシステム作り
- ③ 会社の社会的地位向上を図る
- ④ 官庁に対する入札参加対応の為

その中でも当社の未来の為に最も大事であります「社員の能力向上の為の社員教育のシステム作り」と「社内組織の見直しと充実」を図る為ISOを取得し、企業及び社員全員の向上を図ろうと考え、おかげさまで社員全員の協力、努力のおかげで現在進行中であります。

しかし、社員全員の能力向上、意識の変革、すなわち社員教育の為のシステム作りは並大抵なことでは実行は無理です。そこで平成二十一年一月より専門的に実施する教育部門を設置いたしました。業務部員・営業部員とは別に、教育部門による新入社員・中堅社員・主任者社員に分けて、集合教育を実施するよう計画し、技術・マナー(CSを含む)面を重視し、社員全員技術力・マナー・力アップを計り、お客様からご契約していた

だいてる建物の品質アップに努力し、常にすばらしい環境作りを提供して参りました。又、業務部員・営業部員等につきましても常に新しい技術力の導入、開発の為メーカーとの勉強会・色々な研修会等に積極的に参加し、各個々の技術力向上、意識の変革を図っております。

その他に作業所巡回パトロール等も年間計画をたて、建物内の品質向上、マナー、資材等の整理を重点目標として業務担当者・当社スタッフとの意見交換をして建物の環境作りに努力して参りたいと思います。

私は、常に、社員と共に歩み、社員全員の幸福を願っています。皆さん、明日に向かつて夢と希望を持って目標へ共に進みましょう。

平成二十一年度 ISO品質方針  
「信頼感と安心感のある  
サービスを構築し、社員と共にお客様に  
信頼していただける企業をつくる」

## 新年度のスタートに当たって

当社も七月一日より新しい年度、平成二十二年度がスタートした。

そこで、各部の平成二十一年度重点目標が次のとおり決定したので報告する。

### ○ 業務管理部

人材の育成により品質を確保するとともに、個々人の生産性を向上させ、原価の低減を図る。

### ○ 営業部

売上を前年対比3%増を目指す。

### ○ 総務部・財務経理管理部

販売管理費を十三%以内とし、各事務処理等の合理化・効率化を図る。

業界を取り巻く環境はますます厳しくなっているが、これらの目標に向かって意識的に取り組み、強靭な経営体质の確立につなげていかなればならない。



## 八木寺へベンチ奉納

七月二十三日(金)、第八五番札所八木寺へ会社名入りのベンチ三台を奉納した。参拝者にゆっくりと休んで貰おうと以前から行なっているもので、今回で三回目である。



## 安全大会の開催

六月二十五日(金)、香川県社会福祉総合センターで平成二十二年度の安全部大会が開催された。

当日は一五〇名ほどの出席者があ

り、社長、来賓挨拶の後、無災害作

業所表彰、安全標語入選作品の発表

及び表彰などを行い、最後に安全宣

言、安全スローガンの齊唱で今年度

の無災害を誓い、盛会裡に大会は終

了した。

受賞者と作品は次のとおり(敬称略)

一席 齊藤康博

二席 山田道代

三席 西村美乃里

1人1人が高める安全意識  
みんなでつくる0災職場  
久保寿史  
小さなヒヤリをみんなに伝え  
明日に活かそうゼロ災害  
見直そう一人一人の安全意識  
作業の始めに再確認  
桑野洋吾  
慣れた作業にかくれた危険  
生かせ教訓、見直せ動作  
吉田 宏  
基本で重ねる安全意識  
大きく育てるゼロ災活動

佳作受賞者  
松下和孝

安藤まさる 川邊義和

本田敏子 小林克彦 林 大生

長井杏紗 大原慎也 伊藤裕子

高岡早苗

以上、一席から佳作まで十六名の方  
が受賞されました。

### 平成21年度 職場災害・事故発生状況

災害の種類	前年度	上期	下期	合計
通勤災害	4	1	0	1
業務災害	3	7	0	7
協力業者災害	1	0	0	0
合 計	8	8	0	8

平成21年度の労働災害は、前年度と同数の8件であった。前年4件であった通勤災害が1件に減少したが、業務災害が3件から7件に増加した。なお、協力業者は皆無であった。また、事故の全てが上期に集中した。

## KYチエックシートは正しく使ってますか?

☆ 毎日みんなで唱和しています

か?

☆ 服装はみだれてないですか?

☆ 健康状態は良好ですか?

## 受けの健康診断

労働災害は、些細なことが原因で大事故につながる場合があります。  
毎日みんなでKYシートを唱和し、安全意識を再確認してから作業を始めるように心掛けましょう。



今年も例年通り、香川県土木建設会館で九月二十一日(火)・二十二日(水)の両日午後一時から実施する。  
定期健康診断は、安全衛生法により年一回は実施することが義務付けられているので、この機会に全員が受診されることを希望する。

定例の定期健康診断は、安全衛生法により年一回は実施することが義務付けられているので、この機会に全員が受診されることを希望する。



## 職場の教養

(散歩道)

Kさんの住む東京下町は、かつては空が工場の排気ガスでどんよりと曇っていました。流れる運河は、廃液の影響で真っ黒でした。

しかし、周辺の多くの工場が他に移転し、敷地跡にマンションが建ち始めると、運河にはボラが泳ぐようになり、運河に沿って散歩道が整備されました。

ところが、犬を散歩させる人が増え、糞が始末されないまま、いたるところに放置されるようになったのです。Kさんはモラルのない飼い主を嘆いたのですが、ふと自分も子供の頃、同様の行為をしていたことが思い出され、ハツとしました。その時の自分の節操の無さを償うために、散歩道の清掃を始めたKさん。犬を散歩する人たちに声かけし、街の美化を呼びかけました。昔の汚い街に逆戻りすることはないよう、自ら立ち上がったKさんでした。

### 編集後記

まだ毎日暑い日が続いています。秋が来るものが待ち遠しいですね。

さて、これから年間二回を目途に、今回を創刊号として社内報を発行することになりました。社内報発行の目的は経営方針の伝達、情報共有、会社の現況の伝達、組織の活性化、企業文化、風土の醸成等が考えられます。最初はコミュニケーションの活性化、情報や知識の伝達程度と、徐々に内容の充実を図っていきたいと思います。については、これらに関して、今後、社員皆様のご理解とご協力が不可欠であると思いますので宜しくお願いいたします。

次号

VOL.2

平成二十三年一月 発行予定